

令和8年度 大館市立矢立小学校 学校評価書(前期) ・ 年度)

学校教育目標

ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成

目指す学校像

- ◎子どもの元気と笑顔、活力を地域に届ける学校
(矢立笑活”校)
- ◎地域と学校が連携・協働で子どもを育てる学校

受け継がれる子ども像

矢立杉林のように 大地にしっかりと根を張り合い それぞれが大空に向かって たくましく伸びる子ども

目指す子ども像

- ◇夢や目標に向かって挑戦する子ども(たくましく)…”いつでもどこでも一人でも”
- ◇互いに助け合い協力する子ども(やさしく)…”自分のために みんなのために”
- ◇不思議を発見し解決しようとする子ども(かしこく)…”なぜだろう不思議発見 ハテナ解決”

ふるさとキャリア教育

矢立の人・もの・こととの関わりを広げて
「矢立笑活”校PJ」 カッコいい大人との出会い・カッコいい大館での心震える体験

経営の重点事項 ～「カッコいい矢立っ子」の育成～

- 1 ふるさとキャリア教育の充実 ～地域に元気と笑顔を届ける「カッコいい矢立っ子」～
- 2 「学美(まなび)」と「学び合い」の充実
～授業に全力を注ぐ「カッコいい矢立っ子」、授業力を研ぐ「カッコいい矢立小の教師」～
- 3 豊かな心と健康な体の育成 ～「プラス1」してがんばる「カッコいい矢立っ子」～



【4月 3名の新入生を迎えての入学式】



【5月 体育館での運動会】



【6月 男神山への全校登山】

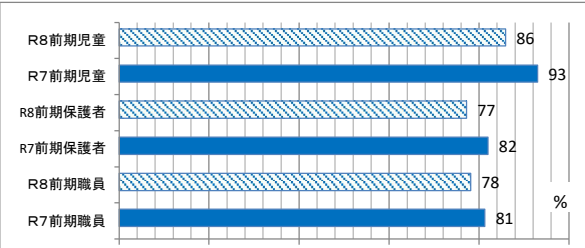
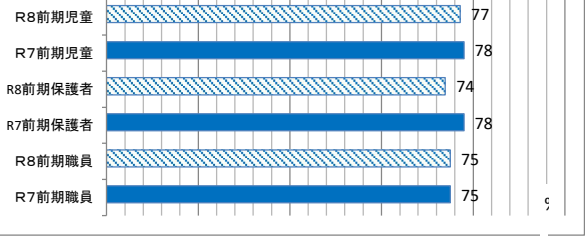
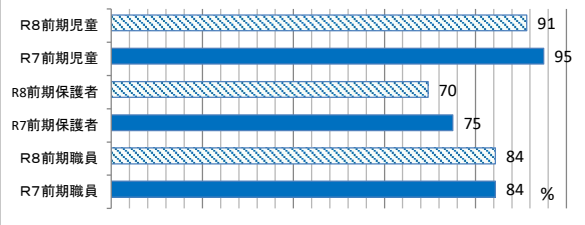
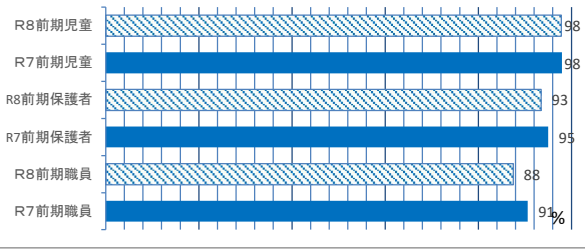


【6月 地域探検】

ア 児童の状況	自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
		良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
		おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
		やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
		努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自律的な生活				
児童生徒の状況		自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント
よりよく生活し安全に過ごすという意欲と能力を高めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	・家庭内での挨拶、特に「どこでも」「誰にでも」挨拶することや規則正しい生活は、改善の余地がある。 ・安全に過ごすための行動への対策は十分はされている。継続してほしい。
	年度			
学 自 校 己 の 評 改 価 善 の 策 概 要 と	【前期(→年度)】 「明るい挨拶」については、学校内でのあいさつは頑張ることができているが、地域の方や顔なじみのない来客へのあいさつに課題が見られる。児童会活動のあいさつ運動などを通して挨拶の大切さを考える機会を設けて働きかけていきたい。「規則正しい生活」については、就寝時刻が遅いことが課題である。原因の一つとしてメディアの長時間利用が考えられるため、今後ONEONEカードの活用や児童会活動を通して働きかけていきたい。「安全教育の充実」については、避難訓練や交通安全教室において昨年度の反省を生かしながら、安全な環境づくりを行い、子どもたちが正しい行動を取れるように指導していく。			
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動	3	
	(2) 規則正しい生活	・家庭との連携(早寝、早起き、朝ご飯) ・始まるの時間を意識した学校生活		
2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度の育成	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚	4	
3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練	4	

【1に関するデータ】		(2)規則正しい生活	
(1)明るい挨拶			
・挨拶については、個人差はあるが、だんだん改善されてきているように見受けられる。しかし、来客や地域の方への挨拶はまだまだ改善の余地があり、「明るく」「元気な」という面では課題もある。挨拶の大切さを含め、機会を捉えて指導していきたい。 ・「規則正しい生活」については、生活のリズムが乱れている児童が多く、「早寝(睡眠時間)」が本校の課題だと捉えている。メディアとの上手な付き合い方を含めて、今後もONEONEカードや児童会の取組等で、児童に働きかけていきたい。この項目については、ご家庭の協力が必須となるので、それぞれのご家庭で事情もあると思うが、協力をお願いしたい。			
・挨拶については、個人差はあるが、だんだん改善されてきているように見受けられる。しかし、来客や地域の方への挨拶はまだまだ改善の余地があり、「明るく」「元気な」という面では課題もある。挨拶の大切さを含め、機会を捉えて指導していきたい。 ・「規則正しい生活」については、生活のリズムが乱れている児童が多く、「早寝(睡眠時間)」が本校の課題だと捉えている。メディアとの上手な付き合い方を含めて、今後もONEONEカードや児童会の取組等で、児童に働きかけていきたい。この項目については、ご家庭の協力が必須となるので、それぞれのご家庭で事情もあると思うが、協力をお願いしたい。			
		【あいさつ運動 (民生児童委員・更生保護女性会)】 【御膳水集会(ヘルシースポーツ委員会) 「自分の生活を振り返ろう」】	
【2に関するデータ】		・「自分の役割に責任をもつ態度」では、学校では自分の役割を意識して、係や当番の活動をとても頑張っている様子が見られる。お手伝いについては、音読カードに記入したり、ONEONEカードにお手伝いの項目を設けたりする取組も行っている。ONEONEカードのお手伝いの項目は、「メディアコントロールをして生きた時間を使ってお手伝いをしよう!」というもので、家庭でも自分の役割に責任をもつ態度を育てたいという本校独自の取組である。・何のためにお手伝いをするのかなどの意味が理解できるようになると自分から進んで行動できるのではないと思う。学校では、道徳や特別活動などを中心に自主的・自律的な生活について考える時間を設けるようにしている。	
(3)自分の役割に責任をもつ態度			
・「自分の役割に責任をもつ態度」では、学校では自分の役割を意識して、係や当番の活動をとても頑張っている様子が見られる。お手伝いについては、音読カードに記入したり、ONEONEカードにお手伝いの項目を設けたりする取組も行っている。ONEONEカードのお手伝いの項目は、「メディアコントロールをして生きた時間を使ってお手伝いをしよう!」というもので、家庭でも自分の役割に責任をもつ態度を育てたいという本校独自の取組である。・何のためにお手伝いをするのかなどの意味が理解できるようになると自分から進んで行動できるのではないと思う。学校では、道徳や特別活動などを中心に自主的・自律的な生活について考える時間を設けるようにしている。			
		【縦割り班で1年生に掃除の仕方を指導】 【交通安全協会の協力による交通安全教室】	
【3に関するデータ】		・「安全教育の充実」については、日頃の保護者・地域のみなさんの安全な登下校等への協力のおかげで、保護者・子どもどちらとも高い数値になった。交通安全教室や避難訓練については、前年度の反省を生かしながら、今後も推進していきたい。また、2学期は、クマの出没も心配されるため、児童の安全な登下校や生活に保護者の皆様のご協力をいただくことをお願いしていく。	
(4)安全教育の充実			
		【着衣泳の指導】	

ア 児童の状況

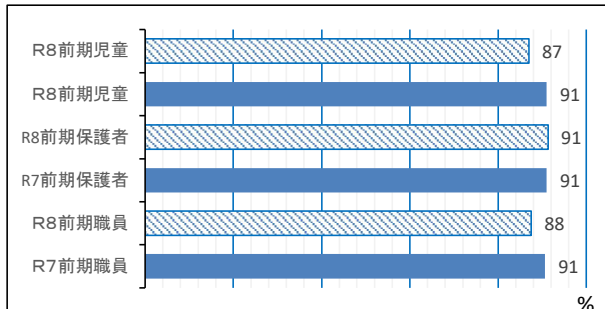
Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況		自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント
互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。	前期	良好	良好	・縦割り班で行動した地域探検や異学年交流がよい影響を与えている。全校登山で助け合ったこともよい経験となった。また、達成感をもてた。
	年度			
校 自 己 改 善 価 値 策 の 概 要 と 学	【前期(→年度)】 「自己有用感をはぐくむ集団づくり」については、全校で取り組んでいる「サンキューがんばりの木」の記入や帰りの会でのお互いのよさを紹介する「キラッとさん」を通してお互いを認め合えるようにしていきたい。「いじめ、諸問題発生の防止」については、年3回のいじめ調査の実施や教育相談の時間を設けて対応している。また、日々職員間で情報共有を行い、問題の未然防止、早期発見に努めたい。「達成感を味わえる活動」については、学校行事等の際に「かっこいい矢立っ子カード」を活用しながら、めあてを設定し、活動後に振り返ることで、児童が自身の頑張りや成長を実感することができている。今後めあてをもって活動に取り組ませていきたい。 【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐくむ集団づくり (6) いじめ、諸問題発生の防止	・互いを認め合う学級づくり ・縦割り活動の充実 ・学び合いを大切に授業 ・早期発見の体制づくり ・いじめアンケート ・教育相談の充実 ・家庭との連携	4	
5 一人一人のよさの発揮	(7) 達成感を味わえる活動	・運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事 ・自分のよさに気付く場の設定	4	

「AI-問オスデーカ」

(5) 自己有用感をはぐくむ集団づくり

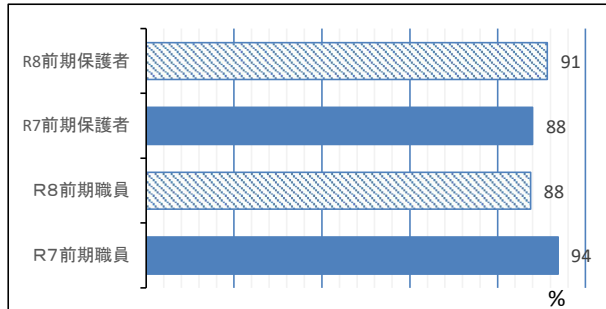


・児童アンケート「自分にはよいところがあると思う。」「友達のよいところを見つけた。」では、昨年度より数値が若干下がったが、自他を思いやる気持ちが育っている児童が多いと感じている。今後も、継続して互いのよさを認め合える場を設定し、教職員もこれまで以上に一人一人のよさをほめ、認める場面を増やしていく。



【地域貢献活動「歩道の清掃」
(5・6年矢立っ子レンジャー)】

(6) いじめ、諸問題発生の防止



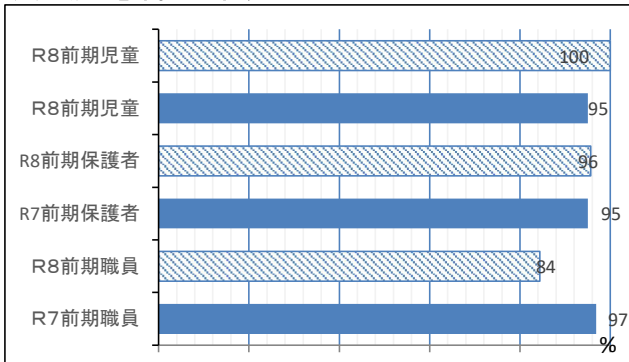
・年3回のいじめ調査を実施し、実態把握、相談の時間を設けて対応している他、調査の時だけでなく、日々、問題があると職員間で情報共有したり、相談活動を充実させたりして、解決に努めている。また、小規模校の強みを生かし、学級担任だけでなく、本校の教職員全員で、全校児童を見守るよう心がけている。



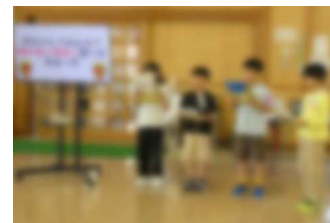
【全校登山(縦割り班ごと)
全職員で児童を見守る】

【5に関するデータ】

(7) 達成感を味わえる活動



【4・5年自然教室
(大館少年自然の家)】



【3・4年碓氷小学校との交流学習】

・保護者・児童とも高い数値になっている。昨年度から取り入れている「かっこいい矢立っ子カード」には、学校行事等の活動の前に、自分が「プラス1」して取り組みたいことを記入し、活動後にそれを含めて振り返りを行っている。めあてをもって活動に取り組んでいることで、それを達成できたときの充実感を味わえていると思う。

ア 児童の状況

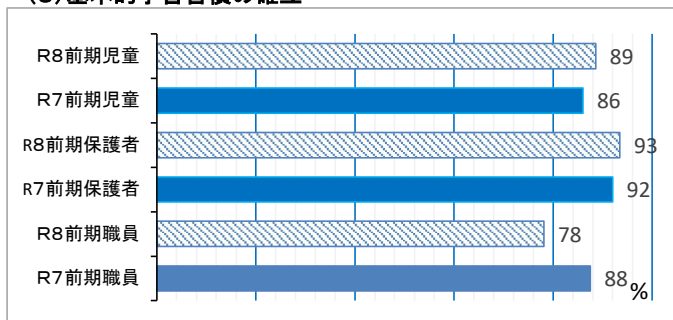
Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら学習内容を定着させている。	前期	おおむね良好	・校内に掲示している書写等の作品を見ても立派なものであった。 ・学力向上については、児童の能力をもう一段引き出す指導をお願いしたい。
	年度		
と自己評価の改の善概要	【前期(一年度)】 全力カードを用いた指導やノート指導、矢小タイムの活用などにより、基本的学習習慣は概ね身に付いてきている。また、矢立スタンダードの活用で、学習リーダーも少しずつ育ってきており、複式学級では自分たちで進めることができるようになってきた。また、今年度は各学級でICTの活用が増えており、高学年ではローマ字入力や、自分に適した思考ツールの選択ができるようになってきた。今後は少人数の利点を生かして、話し合いの力や根拠を示して説明する力などの育成を図っていきたい。その際、電子黒板やタブレット(ロイロノート)を有効に活用し、一人一人の考えのまとめや整理の仕方の幅を広げ、個に応じた授業展開の工夫を考えていきたい。		
	【年度(一次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 基本的学習習慣	(8) 基本的学習習慣の確立	・授業に向かう「全力」カード ・ノート指導 ・家庭学習の習慣化 ・家庭読書の日の設定 ・矢小タイムの充実	3	
6 学力向上	(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・タブレットやドリル等を活用した反復練習 ・教師の見取りの徹底 ・既習事項や資料、経験等を根拠にして説明する場の設定 ・各教科の見方・考え方を働かせて説明する姿が見える授業展開	3	

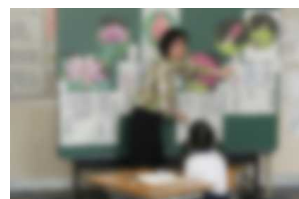
【5に関するデータ】

(8) 基本的学習習慣の確立



・今年度は「かっこいい矢立っ子大作戦」の一つとして「全力で授業に向かう矢立っ子」を目標に、「全力カード」で、学習規律を整えよう取り組んでいる。児童アンケート「忘れ物をせず、準備を整えて学習した。」が100%上がり、学習に向かう気持ちが高まってきていることがうかがえる。

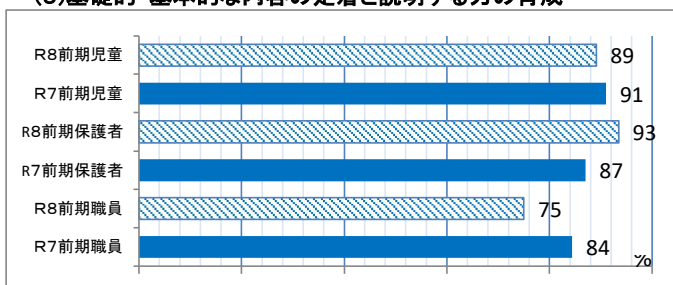
< 普通の授業の様子から >



【1年 国語】

【6に関するデータ】

(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成



・今年度は「見方・考え方を働かせ、主体的に学ぶ『かっこいい矢立っ子』の育成」という研究主題のもと、「基礎的・基本的な知識の定着」「伝え合う力の向上」「ICTの効果的な活用」「学び方の定着」を学びの土台として実践している。人数が少ないという利点を生かし、楽しく学びながら、しかも「分かった」「できた」と思えるような授業を今後も創り上げていきたい。



【2年 道徳】



【3・4年 社会】



【5年 外国語 花岡小とのオンライン授業】



【6年 家庭】

ア 児童の状況

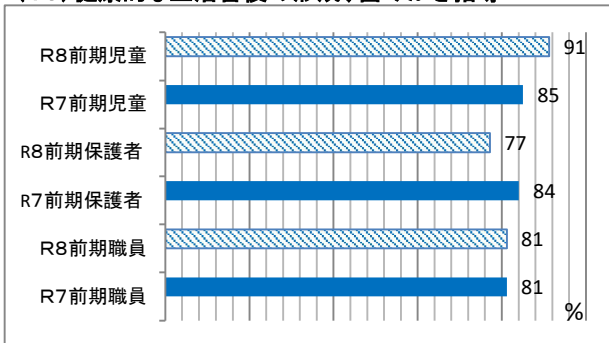
Ⅳ 健康と体力

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人に運動の機会を多く与え、家庭と連携して健康な生活習慣の形成に努めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	・長期休み中の歯みがきが課題ではないだろうか。保護者にもがんばってもらいたい。 ・夏休み中のプール開放は、比較的期間が長くよかった。
	年度			
自己評価の概要と	【前期(一年度)】	1学期は、栄養教諭の食に関する指導や児童委員会による取り組みの成果もあり、好き嫌いせずに給食を食べようとする児童が増え、残食を減らそうという意欲もみられたので継続できるよう働きかけていきたい。9月には大館市一斉メディアコントロール週間があるので、家庭と連携しながら生活習慣の改善についての指導に力をいれていきたい。体力づくりについては、クマ対策に十分配慮しながら徒歩通学の推奨を行い、休み時間は体を動かし遊ぶ児童が多いのでケガに留意し、安全に活動していきたい。		
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 保健指導	(10)健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等ONEONEカードの活用 ・ノーメディアデーの設定 ・給食、歯磨き指導	3	
9 体力の向上	(11)体力づくり活動の充実	・業間運動の推進 ・外遊びの奨励 ・徒歩通学の推奨	4	

〔8に関するデータ〕

(10)健康的な生活習慣の形成、歯みがき指導



保護者アンケートの記述より
・自分から進んでしない。清潔の保持に難がある。

・児童アンケート「好き嫌いせずに何でも食べようとした」は昨年度よりかなり数値が上がった。1学期中に北給食センターの栄養教諭に食に関する指導をしていただいたり、児童会のSDGsの取組として、給食の残食を減らせるように毎月「ペロリウィーク」を実施したりしている成果が現れたものと思う。個人差はあるが、残食が減り、「かつこいい矢立っ子」を目指して、苦手なものの一口でも食べようとする姿も見られた。

・歯みがきについては、6月に「親子歯磨きカード」を使って、保護者の協力を得ながら意識付けを図った。やはり、休日の昼の歯みがきは忘れがちであった。



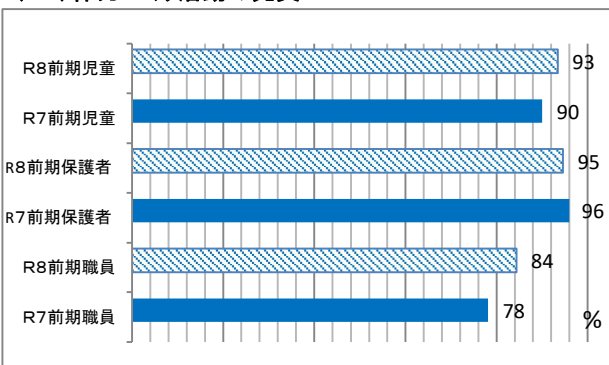
【北給食センター栄養教諭による食に関する指導】



【歯科検診 口腔内写真の撮影】

〔9に関するデータ〕

(11)体力づくり活動の充実



【体力テスト ハンドボール投げ】



【1・2年プールでの授業】

・熱中症を予防しながら、週に1回中休みにマラソンを実施し体力の向上を目指した。体を動かして遊ぶのが好きな児童が多く、休み時間は体育館で一輪車に乗ったり、ボール遊びをしたりしている。全校児童ほぼ全員が一輪車に乗れるようになった。体力テストの結果は、概ね良好であった。夏休み中のプール開放は、薬品の高騰や水質管理の関係などでお盆前に終了したが、開放日には多くの利用者がおり、児童は楽しく水に慣れ親しんだ。

イ 学校運営の状況

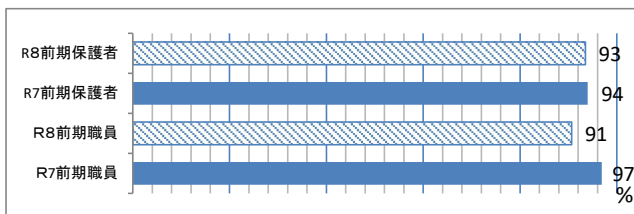
V 組織運営及び保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校に実情に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。	前期	良好	良好	・学校と地域住民との間で、情報の交換ができています。 ・子どもがいない世帯の学校行事等への参加は、矢立地区らしくてよい。 ・保護者や地域を巻き込んで、「開かれた学校」を実践している。 ・統合を見据えた他校との交流(合同授業等)もよく行われている。
	年度			
学 校 自 己 の 評 価 改 善 の 策 の 概 要 と	【前期(→年度)】	学校報を全戸配布させていただいているほか、ホームページやブログでも学校の様子を広く発信し、保護者や地域の皆様から学校経営へのご理解とご協力をいただいている。今年度はお助け隊に祖父母以外の白沢町内の方も参加してくださり、農園活動やプール清掃などでご支援をいただいている。矢立保育所の閉所、矢立育成園の閉園のため、交流の場が減ってしまったが、新たに白沢通園センターや「としよ木漏れ日」との連携を模索しているところである。今後も地域への愛着や感謝の気持ちを育み、元氣と笑顔を届けられるような学校経営を進めるとともに、統合に向けて釈迦内小・花岡小との連携もさらに強めていきたい。		
	【年度(→次年度)】			

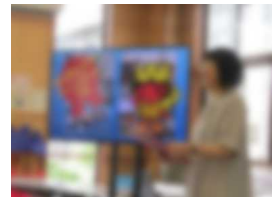
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化	4	
11 開かれた学校	(13) 保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だよりの活用 ・諸活動の案内 ・HP、ブログ、連絡アプリの活用	4	
12 PTA、地域、他校との連携(交流)	(14) PTA、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動(地域人材・施設の活用) ・PTA活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校との交流学习	4	

【10に関するデータ】

(12) 経営方針や重点施策の明示



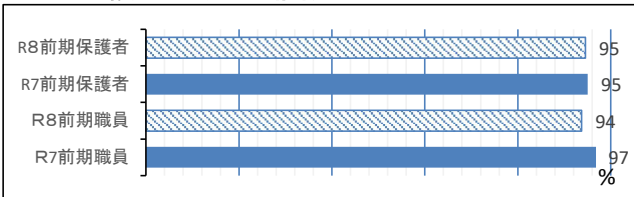
・保護者、職員とも高い数値である。児童には行事等のあいさつで、保護者や地域の皆様にはPTA、学校報等で、学校の目指す子ども像や合言葉について伝えている。学校運営協議会やPTA等での意見を参考にしながら、「開かれた学校」「信頼される学校」を目指していきたい。



【1学期終業式 校長から】

【11に関するデータ】

(13) 保護者・地域への情報発信



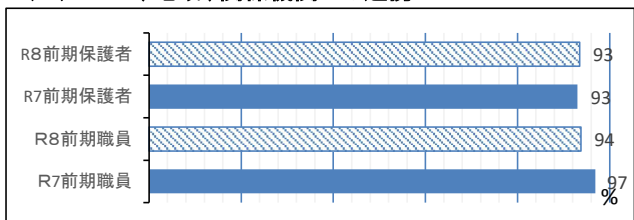
・保護者、職員とも高い数値である。1学期は「地域探検」を行い、地域の方に活動する様子を直に見てもらうことができた。また、児童も地域に元氣と笑顔を届けることを意識して、5・6年生を中心に頑張っている。4～6年生が交代で毎日書いているブログは、「矢立小から全世界に発信！」を合言葉に、見た人の目を引くような見出しを工夫して、学校の出来事を発信している。学校だよりや学級通信、保健だよりなどでは、子どもたちの様子だけでなく、学校経営や学級運営についてもできるだけ分かりやすく情報発信していきたい。また、引き続き報道機関も利用しながら、多方面に発信していきたい。



【地域探検】

【12に関するデータ】

(14) PTA、地域、関係機関との連携



保護者アンケートの記述より

・矢立のよさを生かした教育をされていると思います。地域のパワーを存分に使っていて、ふるさと教育を実践されている印象です。



【地域の方々の協力を得て 左:書写指導 右:花壇・農園作業(お助け隊)】

・保護者・職員とも高い数値であり、保護者・地域の方々の協力を得ながら教育活動を進めることができていることに、感謝している。1学期は、地域の方の多大な協力を得て「地域探検」を行うことができた。また、花岡小、釈迦内小、北陽中とも継続的に交流を続けており、効果を上げている。2学期は統合を見据えて釈迦内小・花岡小との3校での交流学习や、1年生の釈迦内保育園との交流を予定している。「子どもの元氣と笑顔、活力を地域に届ける学校(矢立笑活校)」を目指して「プラス1」し、児童の主体的な活動を取り入れながら矢立の人・もの・こととの関わりを広げていきたい。